

第 2 号に 寄 せ て

吉 見 孝 夫

『イソップ資料』第2号をお届けします。この号は図らずもローマ字特集の体となりました。

創刊号には、錚々たる方々を含む多くの専門家から激励やご批正を賜りました。以下、直接ご教示いただいた内容を記し、これまでの仕事の反省材料、今後の取り組みの糧といたします。

関西大学の内田慶市氏、大阪教育大学の佐藤一好氏からは、ご自身のイソップ関連のご論考、近刊のご予定などをお知らせいただきました。

インターネットサイト「イソップの世界」を主宰されている花間隆氏からは「日本におけるイソップ寓話集対照表」について、いくつかご指摘をいただきました。また数か所のイソップ関連サイトをお教えくださいました。

浩瀚『邦訳二種伊曾保物語の原典的研究』の著者遠藤潤一氏は、堀三友・秋野繁吉『伊蘇普戯伝』は取り上げないのかとの疑問を呈されました。寓話集以外のイソップ関連文献を調査し終えた段階で、疑問にお応えしたいと考えています。

渡邊雅弘編『日本西洋古典學文獻史』の存在をお教えくださったのは『イソップ風寓話集』の訳者（中公新書『ギリシア神話』の著者でもいらっしゃいます）西村賀子氏です。「こんな基本文献も知らないで」と失笑を買ったことと想像します。

最も多くのご教示を賜ったのは、岩波文庫『イソップ寓話集』の訳者（というよりも、西洋古典学の泰斗と紹介すべきでしょう）中務哲郎氏からです。多くの研究者をご紹介いただきました。独りでチマチマと文字を追っているだけの身にとっては、これは大きな支えとなります。余分があるからと『日本西洋古典學文獻史』をお届けくださいました。

以上のご教示には深く感謝申しあげます。

またここにお名前を挙げることは控えましたが、励ましのお言葉をかけてくださった方々にもこの場を借りてお礼申しあげます。

創刊号にはミスがありました。22ページの「藤原梅南」は「藤沢梅南」の誤りです。36、37ページの「栗野忠雄」は、複写を見ればおわかりのように正しくは「栗野忠雄」です。魯魚鳥焉などと弁解するのも恥ずかしい誤読でした。また24ページ「1898年（明治21年）」は「1888年（明治21）」とすべきものです。「日本におけるイソップ寓話集対照表」にも誤記が見つかりました。花間氏のご指摘を含め検討し、いずれ修正版を出すことで責任を果たすつもりです。